



～上手に曲がれるかな?～

上富良野スキースポーツ少年団

かみふらの 議会だより

第 89 号

2016 年 2 月 10 日発行
発行 上富良野町議会

- | | | | |
|-----------|---------------------------|-----|----|
| □第 4 回定例会 | 補正予算を可決ほか | ・・・ | 2 |
| □決算特別委員会 | 26 年度決算を徹底審査! | ・・・ | 4 |
| □ズバリ | ここが聞きたい!! 一般質問 8 名の議員が質問! | ・・・ | 5 |
| □委員会のうごき | 議会運営委員会、総合戦略特別検討委員会 | ・・・ | 14 |

かみふっ子 ♪♪～ すばらしい音色で 全国へ!!

12月定例会は12月15日・16日に開催し、行政報告や議会懇談会、議員派遣結果、総合戦略特別検討委員会の報告、条例改正や補正予算、26年度決算の認定などを行い、8名の議員が一般行政に対して質問を行いました。



上小スクールバンド

全国大会に出場

11月に旭川市で行われた「旭川地区小学校スクールバンドフェスティバル」で上富良野小学校のスクールバンドが大賞を受賞

し、2月に横浜市で行われる「全国小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会」への出場権を獲得しました。

12月定例会では学校体育文化活動参加経費負担金として上富良野小学校スクールバンドが東日本管楽器フェスティバルへ出場するための経費279万1千875円のうち、200万6千円を町で負担するため予算に追加しました。

おしえて!!

『学校体育文化活動 参加経費負担金』ってな～に？

町内の各学校で活動している部活動やスクールバンドなどが全国大会などへ出場するための経費のうち、7割を町が負担し、出場する児童や生徒の保護者、引率する教職員の負担を軽減するためのものです。

補正予算

各会計の補正予算を可決

各会計の平成27年度事業に対する国などからの負担金などの額が確定したことにより、一般会計や後期高齢者医療、簡易水道、公共下水道特別会計を減額しました。

また、一般会計からの繰り入れがあつた国保会計と寄付を頂いた病院事業会計は増額しました。

■ 12月補正予算の状況 ■

会 計 名			補正額	総予算額
一 般 会 計			△ 911 万 5 千円	80 億 1266 万 9 千円
特別会計	国 民 健 康 保 険		2069 万 7 千円	15 億 8776 万 1 千円
	後 期 高 齢 者 医 療		△ 12 万 5 千円	1 億 3565 万 6 千円
	ラベンダーハイツ事業		96 万 2 千円	2 億 9492 万 1 千円
	簡 易 水 道		△ 468 万 9 千円	8347 万 9 千円
	公 共 下 水 道		△ 436 万 6 千円	3 億 7680 万 1 千円
企業会計	病院事業	収益的支出	0 円	9 億 5552 万 9 千円
		資本的支出	14 万円	5493 万 2 千円

条例改正

個人番号の

利用条例の一部を改正

平成28年1月から「マイナンバー制度」の利用が始まりました。

それに伴い、行政では個人番号を利用し、各種事務手続きを行う場合、福祉関係の助成や給付、介護などの事務に伴う18項目についての情報などの規則に定めるものについて、役場内に限り活用できると必要な範囲を提示し、改正しました。



マイナンバーについての内閣官房ホームページ

意見書を国などに 提出しました

特別支援学校の 「設置基準」策定を求める意見書

全国的に特別支援学校の児童・生徒数が増加し、在籍者数はこの10年間で3万6千800人増えています。

しかし、学校建設はほとんど進まず、150人規模の学校に400人以上の児童や生徒が押し込まれ、普通教室を確保するため、カーテンで仕切って使うことなどが常態化しています。学ぶ権利を奪うばかりか、命と健康をも脅かしています。

この事態の根幹には幼稚園から小中高校、大学、専門学校すべてにある「設置基準」が特別支援学校にはないためです。この基準は「学校を設置するのに必要な最低の基準」であり、小学校の標準学級数は12・18であるのに対し、特別支援学校では80学級を超える学校があつても特別支援学校の新增設は進まないことから、特別支援学校に「設置基準」を策定することを求める意見書です。

平成26年度決算を 徹底審査!



平成27年10月26日・28日・29日の3日間、議長と議会選出の監査委員を除く12名で決算特別委員会（村上和子委員長）を開会し、平成26年度の一般会計、国民健康保険特別会計ほか5件の各特別会計、病院・水道の2企業会計の決算を審議しました。

分科会に分かれて全会計の歳入・歳出伝票の検査、歳入・歳出に関する質疑などを行いました。町長に一般会計9項目、2特別会計に2項目の意見を付し、第4回定例会で認定しました。

26年度の新たな取り組み

防災用自家発電設備整備

災害時の避難所停電対策として、役場庁舎、かみん、西小、公民館に9千180万円を整備しました。

中央保育所の移譲

平成26年度にわかば会へ移譲したため、人件費や施設管理費などの運営費負担6千911万2千670円を支出しました。

第20号橋掛替

老朽化と狭隘のため、工事請負費や調査、補償など1億4千995万1千502円の事業費で着工し、27年度に完成しました。

町営住宅泉町南団地1号棟新築完成

老朽化が著しく改築していた泉町南団地1号棟が2億5千164万2千円で完成しました。

11項目の審査意見を付しました

一般会計

町税などの収納

収納率の向上が見られるものの、今後も引き続き不納欠損にならないよう、収納率の向上を。

地域振興費寄付金

ふるさと納税増収のための対策を。

ホームページの充実

発信力を強めるため、内容を精査しリアルタイムでの情報発信を。

定住・移住

1 町の特性をいかし、より具体的目標を定め、実効ある戦略で取り組みを。
2 お試し住宅、移住準備住宅の環境整備を進め、住み続けられるような窓口の支援体制強化と利用の向上を。

かみふっ子健診

目標に向けて、さらに対応を。

国有資産等所在市町村交付金

地方税法の固定資産税と整合性を図るよう国に働きかけを。

観光振興

観光振興計画を着実に進められたい。

閉校後の利活用のあり方

地域の意見を参考にし、町独自の利活用の方を。

農産物加工実習施設

施設の充実と利用促進に努められたい。

国保会計

1 国保税の収納は分納などを活用し、引き続き不納欠損にならないよう努力を。
2 さらに町民の健康づくりを推進し、安定した運営を。

ラベンダーハイツ会計

慢性的な介護士不足の解消を。

ズバリ

ここが聞きたい！

一般質問



一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに町部局に対して行財政全般の考え方や疑問を問うことです。執行機関に所信を問い、事実を質すことにより、公正な行政を確保しようとするものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。詳細は、後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができますので、ぜひ、議場へお越しください。

ページ	質問議員	質問事項
6	金子 益三 議員	① 外国語対応職員配置について ② 自転車をいかした、まちづくり観光振興について
7	米沢 義英 議員	① 上富良野町総合戦略について ② 保育料の軽減について ③ 介護保険制度について ④ 教育振興について
8	竹山 正一 議員	① 商工会の町補助金増額支援について
9	佐川 典子 議員	① 子育て支援について ② 男女共同参画について
10	荒生 博一 議員	① 平成 28 年度予算の取り組みについて ② 町営パークゴルフ場の維持管理について ③ 上富良野高等学校の振興策について
11	中瀬 実 議員	① 町道の補修や改修整備について
12	高松 克年 議員	① 新規就農者に対する支援体制について ② 農産物加工実習施設の整備拡充について ③ 鳥獣害の軽減と将来の対応について
13	村上 和子 議員	① 総合戦略に盛り込まれた事業の実施について



— 金子 益三 議員 —

外国語対応職員配置を急げ

外国語対応の充実は重要である（町長）

人材



多くの観光客でにぎわうイベント

金子議員 わが町では外国語対応の職員が配置されていない。外国人観光客増加のためにも、早急に外国語対応ができる職員の配置が必要であり、対応はいかがか。

向山町長 今後も外国人観光客の増加が期待される。対応の充実は重要だと認識している。外国語会話に対応できる人材の確保は、観光協会など関係機関・団体との情報共有を図りながら、対応策などの検討を行いたい。外国人対応職員の配置についても、これらの検討の中で研究していく。

金子議員 事故など緊急を要する時はどうするか。

向山町長 必要に応じた対応が迅速にできるよう進めていく。

観光

自転車を活用して、観光振興をしては大変有効なものと考えている（町長）

金子議員

わが町の新たな観光振興策として自転車

車人気が高まる中、今後の取り組みは。

金子議員 他の自治体に比べて環境などの優位性が高く、発展分野では。

光振興の一つと考える。現在活動している団体と団体以外の温度差を埋めながら観光振興に活かしていきたい。

向山町長

現在、増加しているサイクルスポーツ愛好者を地域の活性化に結びつけることは、大変有効なものである。

金子議員 多くの地域から訪れるサイクリストが楽しんでいた。だいたいの拠点・情報収集ポイントなどの必要性は、十分に理解する。今後、様々なニーズに対し、行政機関の役割や民間力を活かす分野、圏域内の特性や強みを活かした住み分けなど、十分に協議を重ねて情報発信や拠点づくり、レンタサイクルなど、個々の課題への取り組みを進めたい。民間で取り組まれている広域事業への支援も推

向山町長 十勝岳ジオパークなどと合わせて地元の豊かな自然環境や、恵まれた条件を活かし観

光振興の一つと考える。現在活動している団体と団体以外の温度差を埋めながら観光振興に活かしていきたい。



大好評の十勝岳ヒルクライムのようす



介
護

— 米沢 義英 議員 —

生活支援サービスの充実・強化を

介護利用者が安心して

サービスを受けられるようにしたい（町長）



デイサービス事業

米沢議員

総合支援事業

の移行後も、介護予防利用者が現行のサービスに安心して受けられるために指定事業者等が提供するサービスは、現行基準の質を維持することが必要では。

向山町長

介護予防・日常生活支援事業は平成29年4月から実施する。現在、厚生労働省が示した指針に基づき、関係機関と調整を進めるなど実施に向けて準備に取り組んでいる。高齢者の方が住

みなれた地域で自立した日常生活を継続できるように、新しい総合事業の仕組みづくりに向けた協議を進める。具体的なサービス提供内容は、現在検討中であり、要支援者に対する効果的で効率的な支援が可能になるような仕組みづくりを構築したい。福祉協議会やボランティア等の連携は、地域福祉の核であるため、十分に連携を図りながら、組織の強化を支援したい。

教 育

中学校入学時の指定ジャージを無償給付に
要保護・準要保護世帯等に対し
支援を拡大した（教育長）

米沢議員

子どもの貧困

や教育費の負担が社会問題になっており、教育費の保護者負担軽減のためにも、中学校入学時の指定ジャージの無償給付の実施をしては。また、上富良野高校の維持のためにも学校給食の提供を実施しては。

服部教育長

中学校の指定ジャージの無償給付については、要保護・準要保護世帯に対して新入学用品、PTA会費、クラブ活動費等を就学援助の対象に加え、経済的に困窮する世帯に対する支援の拡大を行うとともに、中体連の大会以外の部活動にもスクールバスの利用範囲を広げ、保護者負担の軽減を図っている。

学校給食の提供実施は上富良野高校と協議した



上富良野中学校の部活動のようす

ところ、現在の校舎の整備では給食車による搬入ができない状況にあり、PTAなどからの要望も寄せられていない。今後においても、学校

や関係団体と連携・協議を行い、教育全般にわたる支援策の研究・検討を進め、道立高校の存続に努めたい。



— 竹山 正一 議員 —

商工会への町補助金増額を

現在、補助率の変更は考えていない（町長）

商
工

竹山議員 商工会は小規模事業者に対し、経営改善普及事業に取り組んでいる。しかし、廃業や撤退により事業所の減少はとどまることなく続き、会費財源などの収入維持が困難となっている。

このような状況の中で、昨年6月に小規模企業振興基本法が制定され、経営発達支援事業を行い支援計画を策定している。

一方で、資金面での自己努力を求められ、毎年2百数十万円を持ち出し、予算を作成している。手持ち資金が減少し、枯渇へと向かうと、今後の商工会活動にも影響が懸念され、経営改善普及事業の人件費相当額の補助や補助率を100%に改定するなど町の補助金を増額しては。

向山町長 町では23年度から3年間、商工会の財政基盤の強化と活動の充実を図るため、通常補助に一定額を上乗せしてき

た。上乗せ部分の活用は商工会の自らの判断により活用されている。

また、財政状況は商工会自身が事業内容や活動方針を決定し、運営されるものであり、町が申し述べる立場ではない。人件費に対する補助率も同様である。

竹山議員 人件費に対する補助は道が主体で補助

を行い、差額が生じた場合は100%の補助となるように町が補助することになっている。

しかし、町では商工会自身の負担を求めている。自己財源しかない商工会にとっては相当な負担となり、補助率を100%にし、自己財源の持ち出しがないようにするべきでは。



商工会が入っているセントラルプラザ

向山町長 道が主体的に補助をしており、他の満たない部分を100%になるまで町が補助する仕組みではないと理解している。補助の仕方は十分議論を行い、双方の合意で補助率を定めている。商工会と意思の誤差が生じているとは考えていない。

竹山議員 小規模企業振興基本法が制定され、地域の小規模事業者の持続的発展のための取り組みが行われている。

しかし、財源が心細くなると活動や運営自体に支障を来すのではないかと資金不足の状態では積極性にも欠け、新たな事業にも取り組みにくくなるのでは。

向山町長 中小企業法の中では商工会が主体となり推進し、取り組むものである。町もそれを支える組織としては役割をはたしていなければならぬと思っています。人件

おしえて!!

『小規模企業振興基本法』ってな～に？

中小企業基本法の基本理念である「成長発展」のみならず、技術やノウハウの向上、安定的な雇用の維持などを含む「事業の持続的発展」を位置づける法律です。

費の補助率など、補助額は商工会自身が組織の中で決定しており、町との間で気持ちがいずれあわない状況で事業運営しているとは捉えていない。

もしも、内部課題を内包しているようであれば、商工会の中でしっかりと合意をしていただき、協議をさせていただくべきと考える。



社会

— 佐川 典子 議員 —

農業委員会や女性の就業促進をどの様に進めるか 様々な場面で女性の意見が 反映されるよう対応する（町長）



男女共同参画社会のシンボルマーク

佐川議員

女性活躍推進

法が27年8月に成立。女性の就業や登用を町にも義務付けられた。どの様に進めるのか伺う。

向山町長

特定事業主行

動計画の策定が求められ、指針に基づき策定する。女性が活躍できる状況や住民の意識向上など、男女共同参画や少子高齢化社会の活力維持も女性の意見が反映されることが極めて重要であり、公的機関や付属機関などの設置なども率先し進める。
佐川議員 公的部門による率先垂範で啓蒙し、働

き方の改革や男性の家庭生活への参画を強力に促進させ、育児介護や仕事も両立させる仕組みづくりが求められる。5年前にも農業委員会の女性登用について質問している。今後、どう変わるのか。

向山町長

現在は女性の農業委員はいない。農業委員会の目的は地域の農業を推進することであり、次回の改選から町長が農業委員を指名する仕組みに変わる。今まで以上に女性の意見や活躍できる環境が求められる状況である事の発信をする。

子育て

医療費の無料化などで子育て支援をしては

安心して子育てできるように

前向きに取り組む（町長）

佐川議員

人口減少で少

子化対策や出生率を上げるための総合的特徴のある子育て支援策が望まれる。若い世代の移住定住促進も重要であり、国の「地域おこし協力隊」など利用してはどうか。

向山町長

地域おこし協

力隊など、必要であれば積極的に取り組みたい。不妊治療の独自の助成は現場の声を聞き対応したい。育児休業の計画性や

環境整備の数値目標は未だ出していない。安心して子育てできるように子どもの医療費の充実を検討する。



何をつくろうかな？集中している西保育園の園児たち



— 荒生 博一 議員 —

新年度予算でどのようにまちづくりを行うのか 個別計画を実践し、活性化を図る（町長）

財
政



見晴台から眺めた街並みと十勝岳

荒生議員 平成28年度予算編成時期を迎え、新年度予算に対する取り組みは。

向山町長 TPPの大筋

合意による農業への影響や、少子高齢化・人口減少、消費購買力の低下による商業への影響などの諸問題は大変懸念している。国ではTPP対応策が検討されており、それらを見極め、農業の維持発展につながる準備が必要と認識している。こ

れからのまちづくりに強い産業基盤を構築していくことが何より重要と考えている。第7次農業振興計画、観光振興計画や現在策定している商工振興計画の着実な実践を図り、産業の活性化を通じて活力あるまちづくりに取り組む。産業間連携は、今後、特に重要と考えており、相乗効果が発揮できるよう、事業の推進に努める。

教 育

上富良野高校振興策のさらなる活用を

高校・PTAと協議し、

支援策の検討を進める（教育長）

荒生議員

上富良野高等

学校振興策の中の通学費補助事業制度の一つである下宿費の支出が26年度の成果報告書に記載がなく、実績がなかったと考える。就学機会の確保や地域の活性化、地元高等学校の存続を図るための制度であるにもかかわらず、しっかりと活用されていないのではないかと。

えることが重要である。上富良野高校や関係組織、関係団体と連携を図り、この支援策が効果的な役割を果たせるよう努めている。引き続き、高校やPTA等と協議を行い、今後必要な支援策の検討を進める。

服部教育長

本年度から美瑛までの通学費全額助成を旭川まで拡充を図っている。

下宿費の助成は遠距離から通学する生徒の不便を解消するためには必要であるものの、これまでに助成した実績はない。アパートなどの空き部屋利用や企業への働きかけなど、受け入れ態勢を整



上富良野高校の授業風景



土木

— 中瀬 実 議員 —

町道の補修や改修整備について

優先順位を決め、年次計画を持ち実施する（町長）

中瀬議員

町道は路線で431本あり、総延長は41.5kmになる。主な路線は57路線あり、供用開始から年数が経過し、路線状況が非常に悪くなっているところが目立ってきている。

これらの町道の補修改修整備はどのような基準と目安で行われているのか。

向山町長

主な町道について、建設から30～40年が経過し、舗装面の損傷が進んできている状況にある。損傷の原因として経年劣化や大型車の通行、上下水道と農業用水路埋設時の舗装切断・復旧などによる路面の凹凸が主なものとなっている。

町道にかかる補修の基準や目安についてであるが、陥没や凹凸およびひび割れが発生している危険な箇所などはその都度、部分補修で対応している。また、改修整備について1級・2級町道はほぼ改

良舗装済みであることから今後の改修工法としては舗装のオーバーレイが考えられる。オーバーレイを含め、道路改修側溝の改修については地域の要望や現場の状況を考慮し優先順位を決め、年次計画を持ちながら実施する。

中瀬議員

改修の方法としてオーバーレイが考えられるとのことだが、オーバーレイの単価は。

建設水道課長

オーバーレイには3通りの方法があり、いずれも相当金額がかかる。試算によるとmあたり2万円程度かかると思われる。

中瀬議員

町の幹線道路である北28号西道路の改修予定などについて見解を伺う。

建設水道課長

北28号西道路については地域住民会より改修の要望も出ていることから本年度は2回補修工事を行っている。舗装の改修はオーバーレ



劣化している町道

イの道路の整備計画の中にも載せており、現在のところ何年に行うということを示すことはできない。

中瀬議員

オーバーレイを施工するときの費用が非常にかかり、町の財政

を圧迫することになる。

この工事をするための補助事業などはどのようなものがあるのか。

また、北28号西道路を

改修する場合の補助事業は何か考えられるか。

建設水道課長

社会資本

整備総合交付金という事業がある。補助率が最大65%になる。ただ、この工事の採択を受ける条件は幹線道路の整備で道路ストック点検という点検調査なども加わる。これにのっとって行うと考える。北28号西道路の改修は、この補助事業の中でオーバーレイによる改修を考える。

おしえて!!

『オーバーレイ』ってなに？

道路舗装などの路盤まで達していないひび割れなどが見られた時に表層のみを変える修繕方法のこと。

路面を削ってから舗装をする、ひび割れの上から舗装する、穴埋めしてから舗装をする3通りの方法がある。

施設

— 高松 克年 議員 —

6次産業化をふまえ、農産物加工施設の整備を 地場産品の開発に利用可能な新施設へ（町長）



老朽化している農産物加工実習施設

高松議員

加工場の老朽化が進み、6次産業化に向けた実習の場としても農産物が持つ機能性を向上する商品開発ができる施設が必要では。

向山町長

開設から20年が経過し、修繕や修理を行っている。地場農産物を活用した新製品開発や6次産業化などの事業展開を促す重要な施設として方向性を見出したい。

高松議員

機具や機材など将来を展望すると、衛

生管理や人材確保などの基準をクリアしなければならぬのでは。身近な農産物でも機能性が重視されているものが多く、

加工に高度な技術が必要とすれば、大学や道の専門機関と連携が可能と思う。十分な検討を。

向山町長

20年前には想定していなかった6次産業化や高機能食品などに対応できる加工施設を整備する方向付けをしていきたい。

農 業

新規就農者に対する支援体制整備を

就農支援制度の整備と

就農増加をめざす（町長）

高松議員

わが町の新規就農支援の条件が厳しい状況にある。5年間の就農者数、青年就農給付金の利用状況と受け入れ農家数は。また、女性就農者の受け入れを積極的に行うべきでは。農業振興計画にある就農支援の制度整備が必要では。

向山町長

性別や年齢を問わず、支援制度などの整備を図りながら確実に就農増につなげていきたい。

産業振興課長

5年間で3件が就農し、経営開始型の利用が3件、準備型受け入れ農家は無い。

高松議員

新規就農が5年間で3件は少なすぎるのでは。

向山町長

離農の方が圧倒的に多く、非常に危惧している。



Uターンによる新作物の導入（タラノメ）

高松議員

就農支援の準備型が利用されていないのは受け入れ農家とマッチングができないことが要因と思う。現在、国の準備資金なども拡充されているものの、対応ができていないのでは。

向山町長

指導する農家とセットになるので、困難な場合が多く、条件不利地をお世話したような傾向がなかったか町の独立までのサポートが必要と認識している。



政策

— 村上 和子 議員 —

地方創生の新交付金活用と予算付けの具現化を
総合戦略 19 施策の
ソフト事業を予算化したい（町長）

村上議員 総合戦略に盛り込まれた事業の新交付金はどう活用するのか。また、地方創生事業をどのように位置づけ、予算化し具現化するのか。

向山町長 総合戦略に位置づけられるソフト事業が交付金の対象事業になると理解しており、19 施策に沿ったソフト事業を予算化したい。国の動向を見極めながら、町の 27 年度補正予算や新年度予算を通じて内容を示したい。

村上議員 当町の総合戦略の素案が示され、議会としても特別委員会を設置し、具現化のための意見書を提出した。

定住人口の増加と地域経済の活性化、特産物や観光資源を生かし、人を呼び地域に仕事を生み出す総合的機能を有する拠点づくりが重要項目と考

える。人の流れを作り、雇用の場を作ることは 19 施策の中で一番の優先

事業ではないか。最も力を入れるべき事業はどのように考えているのか。

向山町長 新しい人の流れを作り、町に新たな活力が感じられるような仕掛けや拠点づくりは施策の根本になるので、一つのツールとして大きなものになるのではないかと期待している。

19 の施策全てをしつかりとボトムアップしたいと考えている。町全体に活気が来るような事業は高い順位になるのだろうと考えている。

村上議員 交付金の配分は 19 事業すべてに振り分けるのか。新年度の予算付けの中で何か構想はあるのか。

向山町長 町で該当するのではないかと期待を込めて事業を選び、国に提示し、査定される。新年度予算の要求段階で取り組めるものについては初めからマークアップするように集計してい

る。財源確保も含めてソフトからハードにつなげていくことを見据えて予算編成を行っている。

村上議員 地方の雇用を支えているのは既存の昔から地元で頑張っている企業であり、また農業者である。

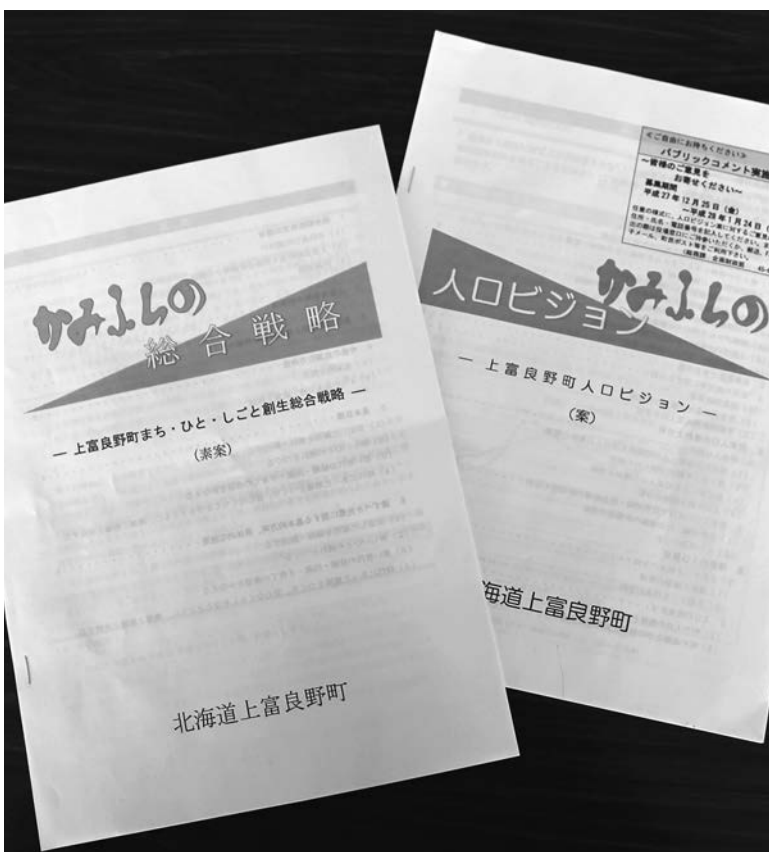
町民も議会も行政も一体化した情報を見つめ、将今一度足元を見つめ、将

来の予測を 5 年後にはこれぐらいになると数値化するべきでは。

向山町長 移住人口を増やすことも方法として選択肢の一つと考える。これからも住み続けていたことが優先されるべき。農業関係では 6 千ヘクタールの耕地を活用して潜在的生産力がどれくらいあるのか調査し、

まだまだ生産余力はあると考えている。商業振興計画の中で取りまとめ、検証する。町民と共有できるかどうか議会とも審議し、定まった後には全力を傾注したい。

町民が安心していただけるまちづくりに総合戦略をしっかりと結び付けたい。



かみふらの総合戦略と人口ビジョン（案）



東中多世代交流センターでの懇談会のようす

議会運営委員会

議会では、広く町民の皆さまと懇談する機会を設けるため、第6回議会懇談会を11月27日（金）に開催しました。草分防災センター、セントラルプラザ、東中多世代交流センター、保健福祉総合センターかみんの4か所で開催し、52名の町民の方に参加いただきました。

「議会報告会」から

「議会懇談会」へ

昨年まで開催していた議会報告会では定例会での決議事項などを報告してきました。しかし、本年度からより多くの町民からの意見を聞くために、懇談を中心とした議会懇談会として実施しました。初めに議員の自己紹介をした後に、総務産建常任

町民 議会懇談会に参加者が少ないのは議員の周知不足。選挙の時のように真剣に取り組めば、参加者が増えるのではないかと。

町民 単なる周知だけではなく、日頃からの議会議員活動が目に見えるものにならなければ、懇談会の参加者は増えないと思う。議会の活性化が必要。

町民の皆さまと懇談

町民 閉店した店が多く商店街の将来が不安。

議員 商工会員数も300会員を下回った。買い物も、週末に旭川の大型店に集中するなど、ライフスタイルの変化が大きい。また、商店街の高齢化も要因のひとつである。今後は商店街と農家などとの協働が必要ではないか。

町民 耕作面積は変わら

ず、農家戸数が減少したため1戸当たりの負担が増えた。農業が忙しく行政に参画する余裕が無い現役世代と話し合う機会をつくる必要がある。



セントラルプラザでの懇談会のようす

アンケートで頂いた意見

議 会

- ・ 重要な議決事項の場合は、議会だよりに掲載し、各議員の賛否を載せてほしい。
- ・ 行政全体（国・道・町含め）の縦割り体質が変わらなければ民意は反映されないと思う。
- ・ 改善しなければ希望も何もない。
- ・ 町民の意見をもう少し聞く機会を増やしてほしい。新しい事業（例えばジオパークなど）決定する前に意見交換などをしてほしい。
- ・ 町の将来は、早急に町民全体で考えていかなければ、大変なことになる。
- ・ 議員の皆様方もっと改革心を持つてほしい。
- ・ 自分自身がこの町を好きにならなければならぬ。
- ・ 町の存続が危ぶまれ、ぼやぼやしていると限界

集落となる可能性があると思う。

近くの町村は移住推進課などをもうけて移住関係に真剣に取り組んでいるところもある。

懇 談 会

- ・ 意見をガス抜き程度に聞くのではなく、結果報告的なことが望まれる。
 - ・ 座談会方式（気楽に）
 - ・ 開催は住民に対してなので、時期など、農家に併せなくてもよいのでは。
 - ・ 報告が口頭であり内容がよくわからなかった。
 - ・ 項目だけでも文書で配布しては。
 - ・ 町民全体を対象としたグループワークが必要だと思う。
 - ・ 決めたテーマに基づいて意見交換をしてほしい。
- 議論が前に進まないのが残念。

・ テーマに対して基礎的な事を発表してから懇談というのはどうか。

・ もっと多数の人が集まるようPRしてはどうか。

毎回この程度ならば開催する意味がないと思う。

※アンケート結果は、町のHPに掲載しています。

皆さまから頂いた意見を

町長へ提出しました

要 望

- 1 除雪後は路面がツルツルになり、歩きにくい所があるので、除雪時に配慮を。
- 2 東中会館の屋根改修とボイラーの更新を。
- 3 北19号、東7線、道上富良野旭中線の交差点の交通安全対策を。
- 4 計画的な河川の雑木除去を。
- 5 住民会は予算や役員の高齢化から、敬老会の実施に苦慮しているため、対応策の見直しを。
- 6 ラベンダーハイツの通路や送迎車内のこまめな清掃を。
- 7 十勝岳の防災対策に美瑛町との差が見られるので、さらなる整備促進の要望を。

意 見

- 1 観光振興や商店街活性化の拠点施設ともなる道の駅を整備してほしい。
- 2 ふるさと納税の謝礼品の制度をつくり、財源確保を図ってはどうか。
- 3 総合戦略の策定では、もっと町民の意見を聞き、具体的な人口減少対策を。
- 4 新規就農者や新規就業者に対する支援の拡充が必要ではないか。
- 5 6次産業化の取り組みに何らかの支援を行い、働く場の確保を。
- 6 様々な取り組みに、有権者となる高校生も含む若い世代の意見をもっと取り入れられる仕組みづくりが必要ではないか。



総合戦略特別検討委員会

上富良野町まち・ひと・しごと「かみふらの総合戦略」の策定に対し、調査検討を行うことを目的として総合戦略特別検討委員会を第3回定例会において13名の委員により設置しました。

意見書を提出しました

上富良野の人口は平成52年に約8千人という推計がある中で、将来展望人口は1万人を確保することを前提に総合戦略が策定されています。

この1万人を確保するためにには町民の参加のもと行政と町民との連携を

強め、情報を共有し、人口減少対策に向けての地方創生を成し遂げていくことが重要です。

意見書の集約は地方創生を着実に推進すべきであるとの強い意志により、上富良野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基

本目標や基本的方向、具体的施策に基づき、より具体的な施策を洗い出し、具現化をするべき事項などを協議し、意見を集約

しました。

かみふらの総合戦略は人口減少と地域経済縮小の克服に向けて具体的施策の重点化集中化をすべての町民と共に総力を挙げて取り組まなければなりません。また、現在まで第5次総合計画や農業振興計画等の個別計画により様々な事業を展開し

調査の経過

9月29日	第3回定例会で総合戦略特別検討委員会設置の発議を可決 正副委員長長の選出、検討スケジュールの確認
10月7日	分会長選出、分会ごとの意見集約
10月14日	分会ごとの意見集約
10月22日	意見書素案の検討
10月29日	意見書最終確認、議長へ提出

まとめ

「上富良野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、人口減少対策は出生率の向上と転出抑制、転入増加により人口規模の確保を図り、素案では平成52年には合計特殊出生率と純移動率の改善で約1万人の人口を維持するとしている。出生率の向上と転出抑制策、転入増加策の施策の展開の内容が目標を達成するためにも、より具体的に記述することが望まれます。

今を生きる私たちは次世代を担う子ども達へ豊かで住みよい地域を継承していくことが重要な責務です。そのため、「かみふらの総合戦略」は人口減少と地域経済縮小の克服に向けて具体的施策の重点化、集中化をすべての町民と取り組まなければなりません。また、総合計画や農業振興計画

委員長	村上 和子
副委員長	中澤 良隆
第1分会長	今村 辰義
第2分会長	佐川 典子
委員	岡本 康裕 長谷川 徳行 金子 益三 北條 隆男 竹山 正一 荒生 博一 高松 克年 米沢 義英 中瀬 実

議会の窓



10月20日	議会運営委員会
22日	総合戦略特別検討委員会
26日	決算特別委員会（1日目）
27日	上川管内町村議会議員研修会
28日	決算特別委員会（2日目）
29日	決算特別委員会（3日目）
	全員協議会
11月6日	総合戦略特別検討委員会
16日	厚生文教常任委員会
	道外先進市町村行政調査（～19日）
20日	議会運営委員会
27日	総務産建常任委員会
	議会懇談会
12月7日	厚生文教常任委員会
8日	総務産建常任委員会
9日	議会運営委員会
10日	全員協議会
15日	議会広報特別委員会
16日	第4回定例会（1日目）
22日	議会広報特別委員会
1月15日	議会運営委員会
18日	議会広報特別委員会
25日	第1回臨時会
27日	議会広報特別委員会
	先進市町村行政調査（～19日）

◆富良野沿線市町村議会 議員研修会に参加しました。

10月5日に開催された富良野沿線市町村議会議員研修会に議員13名が参加しました。

北海道保健福祉部健康安全局国保医療課長 望月泰彦氏による「国民健康保険の見直しについて」の講演を聴講しました。



◆上川町村議会議員 研修会に参加しました。

10月27日に開催された上川町村議会議員研修会に議員14名が参加しました。

東京大学大学院農学国際専攻教授 鈴木宜弘氏より「TPP交渉について」、経済ジャーナリスト 須田慎一郎氏より「日本経済の課題と展望」の講演を聴講しました。



議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる方法です。議会では住民生活にも関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政（町長や教育長）へ質問をする「一般質問」も行われます。

次の定例会開会予定は…

3月1日（火）	報告案件、補正予算など
2日（水）	新年度予算など
8日（火）	一般質問
9日（水）	一般質問
16日（水）	条例改正などです！

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議事堂までお越しください。

お気軽にお越しください。
たくさんの方の傍聴をお待ちしています！

上富良野町議会事務局 電話 ㊟6992
お問い合わせ

み～つけた!!

☆ぴか☆つと輝くまちのひと

今回から、町の将来に夢を見て、農業や商工業の経営に携わっている元気な経営者の素顔を紹介します。

皆さまのところへ取材に伺う機会もあると思います。ご協力をよろしくお願い致します。また、若い担い手や経営者の方がいましたらご紹介ください。



(弟：晃生さん)

(兄：淳也さん)

今回は、島津で「水田と肉牛」の農業経営の担い手として仕事をしている北野淳也・晃生さん兄弟に、農業に対する思いを伺いました。

兄と力を合わせ農業ができる喜びを感じて

晃生さん 兄が酪農大学に進学する姿を見て、僕が米作りを学ぶことで一緒に農作業ができると思います、農業の専攻科に行くことを決意しました。

農業に従事してみてもいいんじゃないかな」と言われ

たときはとてもうれしいです。余裕があれば、放牧やアスパラの栽培をしたいと考えています。

兄弟で農業をされていてよかったことは、農作業に必要な機械の移動なども相談し、効率的な農作業ができることです。

迷いなく農業への道へ

学んだ知識と現実の違いに戸惑いながら

淳也さん 米と肉牛を育てていた父の姿を見て酪農大学へ進みました。学生の半分が農家出身で、農家を継ぐことの抵抗はありませんでした。牛を育てるための栄養管理などを幅広く学びました。

牛は美味しい牧草をよく食べてくれます。牧草は天候や土地の条件で質が大きく変わり現場で経験を積むしかないと感じました。育てた肉牛が高く売れたときはうれしいです。まだ思うような牛

兄弟でお互いにできないところを補いながら農作業をするのが励みになっています。

町や町議会に要望したいことは、新規就農者の受け入れ態勢の充実や地域のサークル・団体などに目を向けていただきたいです。

(インタビュー…米沢)



ひとりごと…

■昨年、農家は豊作で一息ついた1年だったようです。

しかし、昨年にT P Pが合意され、いつ批准され、実行されるのか最大の関心事となりました。

■農業が基幹産業のわが町では、どのように成長していくのか、これから総力を結集すべき時なのではないでしょうか。

■どうも中央ではかけ声ばかり。地方への富のしずく(トリクルダウン)も届いていない実感がないのは私だけかな。

■今年も豊作ですべての町民の皆さまが暮らしやすい実感できるように、皆さまの隣で寄り添い、優しい感覚を持って、私たち町議会もがんばります。

(高松 記)

議会広報特別委員会

委員長
副委員長
委員

米沢 義英
高松 克年
北條 隆男
竹山 正一
荒生 博一
中瀬 実